

報道関係者 各位

2017年11月1日 日本科学未来館

＜取材のご案内＞

世界科学館サミット 2017 特別セッション「東京プロトコール」 ～SDGs 達成に向けたアクションを発表～

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛)は、2017年11月15日(水)～17日(金)の3日間、アジアで初めてとなる「世界科学館サミット2017(SCWS2017)」を開催します。本サミットは3年に一度開かれる国際会議で、科学館の代表者をはじめ、教育関係者、政策関係者、企業関係者らが一同に会し、科学技術への市民の関わりについて議論し科学館の新たな役割について提言を行うものです。

初日に開催される特別セッションでは、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて世界の科学館代表者たちによって合意された行動指針「東京プロトコール」の重要性について、本サミットの国際組織委員会委員長である毛利が紹介します。また、世界各地の科学館代表者が、それぞれの地域で今後取り組んでいく課題を発表し、SDGsの達成に向け、世界の科学館がそれぞれどう貢献できるか議論します。何卒ご取材を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SCWS2017 特別セッション「東京プロトコール:ローカルなアクションのためのグローバルなプラン」

開催日時: 2017年11月15日(水) 17:45～18:45

会場: 日本科学未来館

受付: 17:15～ 日本科学未来館 1F プレス受付

- ・本企画は、会議参加者およびプレスの方を対象としたセッションです。一般の方のご入場はご遠慮いただいておりますのであらかじめご了承ください。
- ・日本語の同時通訳があります。

※同日 16:30～17:30 に、世界科学館サミットにあわせ公開する下記の展示も取材いただけます。

- ・特別展示「ビューティフル・ライス～1000年おいしく食べられますように」
- ・特別展示「もうえらべない? 地球 Sold Out! ～SDGs×未来逆算思考～」

※3日間の会期中、セッションが多数行われます。その中から注目のセッションをp.3にご案内します。

※特別展示と個別セッションの受付は、15日(水)は11:00～に1Fプレス受付にて、16日(木)と17日(金)は個別に対応します。

ご取材いただける場合は、別紙返信票を11月14日(火)15時までにプレス事務局へご返信くださいますようお願いいたします。

一般からのお問い合わせ先	セッション取材についてのお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikan.jst.go.jp/	SCWS2017プレス事務局(株式会社共同ピーアール内) 担当:市川、田中 (E-mail: miraikan_pr@kyodo-pr.co.jp) TEL:03-3571-5326 FAX: 03-3574-0316
	世界科学館サミットに関するお問い合わせ先
	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 (E-mail: press@miraikan.jst.go.jp) TEL:03-3570-9192 FAX: 03-3570-9150

SCWS2017 特別セッション

「東京プロトコール： ローカルなアクションのためのグローバルなプラン」

世界科学館サミット 2017 の開催に先立ち、2017 年 6 月に、科学館の行動指針「東京プロトコール」が世界の科学館代表者たちにより合意されました。

本セッションの前半に、前回の SCWS2014 にて提言された「メヘン宣言」に沿って、過去 3 年間に世界の科学館で実施された活動の実績について振り返ります。後半では、SDGsの達成に向けた「東京プロトコール」について議論します。まず本サミット国際組織委員会委員長の毛利が、「東京プロトコール」の意義について紹介し、その後、各地域の科学館代表者たちが、今後のアクションプランについてそれぞれの地域の優先課題を発表します。



「東京プロトコール」署名の様子

開催日時: 2017年11月15日(水) 17:45~18:45

会場: 日本科学未来館 企画展示ゾーンb

モデレーター:

デレック・フィッシュ(ユニズル科学センター館長、南アフリカ)

エリック・ジャックミン(国際コンサルタント、ベルギー)

発表者:

ティットムン・リム(シンガポール科学センター館長、ASPAC会長)

ガイ・ラビーン(サイエンスノース館長、カナダ、ASTC会長)

ハーバート・ミュンダー(ユニバーサム・プレーメン館長、ドイツ、ECSITE会長)

サウサン・ダラク(チルドレンズ・ミュージアム館長、ヨルダン、NAMES会長)

ルイーザ・マサラニ(ミュージアム・オブ・ライフ館長、ブラジル、RedPOP会長)

モンディ・ムングニ(モンディ科学センター館長、南アフリカ、SAASTEC会長)

毛利衛(日本科学未来館館長、SCWS2017国際組織委員会委員長)

※本企画は、会議参加者およびプレスの方を対象としたセッションです。一般の方のご入場はご遠慮いただいておりますので予めご了承ください。

SCWS2017 特別展示

・「ビューティフル・ライス～1000年おいしく食べられますように」

アジア各地の農村で、数千年にわたって続いてきた伝統的な米作りを科学の視点で読み解きながら、これからの1000年も「おいしく食べる」ためのアイデアを探ります。

開催期間: 2017年11月11日(土)～2018年1月8日(月・祝) ※火曜、年末年始、11月15日休館

開催場所: 日本科学未来館 1階コミュニケーションロビー

入場料: 無料



・「もうえらべない? 地球 Sold Out! ～SDGs×未来逆算思考～」

近い将来、今のような豊かな暮らし方を選べなくなるとしたら、どうするか? 私たちの消費行動とSDGsとの関係を考えるパネル展示。

開催期間: 2017年11月1日(水)～2018年1月8日(月・祝) ※火曜、年末年始、11月15日休館

開催場所: 日本科学未来館 3階常設展内

入場料: 常設展入館料(大人620円、18歳以下210円)



■世界科学館サミット(SCWS)2017

開催日程 2017年11月15日(水)～17日(金)

開催場所 日本科学未来館

特設サイト <https://scws2017.org/jp>

＜参考＞ SCWS2017 そのほかの注目セッション

・以下のセッションはすべて英語で行われます。実施会場等、詳細はお問い合わせください。

■ 11月15日(水) 11:30～12:45

セッションA-1「世界情勢と科学館が果たすべき役割」

近年、ナショナリズムの高まりや貧富の格差の増大など、グローバルな協力体制が危ぶまれる状況も生まれています。このような状況の中、科学館が地域における「信頼できる場所」として、対話を進めていくための方法について考えます。

主な登壇者：シルヴィア・シンガー（メキシコ経済インタラクティブミュージアム 館長）、グラハム・デュラント（オーストラリア国立科学技術センター 館長）、ロバート・ファームホファー（ポーランド コペルニクス科学センター 館長）、ジェフ・ドルフ（カリフォルニア科学センター 館長）他

■ 11月15日(水) 11:30～12:45

セッションA-3「STEAM教育の推進に向けた国際的な協働」

STEAM(Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(芸術)、Mathematics(数学))教育の推進に向け、科学館は、企業や学校と効果的に連携しています。10カ国から1400人が参加した映像制作ワークショップ「Picture Happiness on Earth」をケーススタディとして今後の指針について議論します。

主な登壇者：宮原裕美（日本科学未来館）、ワチラファ・チャロンウエット（タイ国立科学館）他



■ 11月15日(水) 14:00～15:15

セッションB-5「地球のためのクリエイティブ・インフォマティクス」

地球とその持続可能性について新たな視点を提示し、広く一般に普及するため、地球に関する科学データを可視化する手法開発に注目します。未来館が研究機関やアーティスト、企業などと協力し進めてきた事例を、実演を見ながら紹介します。

主な登壇者：松岡大祐（海洋研究開発機構 技術研究員）、山本信一（株式会社オムニバス・ジャパン クリエイティブディレクター）、ゴパル・シャー（グーグル グーグルアース プロダクトマネージャー）他

■ 11月15日(水) 15:30～16:45

セッションHPS2「持続可能性のための思考法」

持続可能な社会はそれぞれが個別に取り組んで実現できるものではなく、社会のあらゆる構成員が協力していく必要があります。世界各地で行われている実践を紹介し、そのビジョンやミッション、そして様々なステークホルダーを巻き込んでいくための思考法について議論します。

主な登壇者：サリー・デイヴィス卿（英国政府首席医務官）

アキッサ・バーリ（アフリカ水資源ファシリティ 教授）

アルフレード・トルマスキム（ブラジル ミュージアム・オブ・トゥモロー 館長）他



サリー・デイヴィス卿

■ 11月16日(木) 16:25～17:40

セッションPS「科学技術における共創とは」

IoT、ビッグデータなどが、人々や社会に大きなインパクトを与えています。科学館は、このような急速に進展する科学技術をどのように扱い、どのように市民と関わり、社会の中のステークホルダーにどのように働きかければよいのでしょうか。科学館を軸にした共創の展望を探ります。

主な登壇者：ジュネビーブ・ベル（インテル ニューテクノロジーグループ シニアフェロー）

矢野和男（日立製作所 研究開発グループ技師長）

ヤニス・ミャオウリス（ボストン科学館館長）他



ジュネビーブ・ベル

■ 11月17日(金) 9:00～9:35

ジョン・クレブス卿による基調講演

英国食品基準庁の初代長官として、BSE問題で揺れた英国食品行政を立て直し、英国市民による同行への信頼を回復させたジョン・クレブス卿による基調講演。

登壇者：ジョン・クレブス卿（オックスフォード大学ジーザスカレッジ 名誉フェロー、前学長）



ジョン・クレブス卿

FAX返信票 プレス内覧会 事務局 行き

FAX : 0120-653-545

世界科学館サミット 2017 (SCWS2017)

ご参加内容 受付 11/15(水) 17:15~	SCWS2017 特別セッション「東京プロトコール」(11/15(水) 17:45~18:45)
御社名	
媒体名	
ご部署名	
お名前	様 全__名
撮影機材	<input type="checkbox"/> ムービー(ENG 台 ・ ハンディ 台) <input type="checkbox"/> スチール(台)
ご連絡先	MAIL: TEL: FAX: 携帯電話: ※差し支えないようでしたら当日連絡のための携帯電話番号をご記載ください。
通信欄	※上記以外に、ご取材希望がありましたら記載ください。 <input type="checkbox"/> 特別展示「もうえらべない? 地球 Sold Out! ~SDGs×未来逆算思考~」 <input type="checkbox"/> 特別展示「ビューティフル・ライス~1000年おいしく食べられますように」 <input type="checkbox"/> 個別セッション(ご希望のセッションを下記に明記ください)

※特別展示と個別セッションの受付は、15日(水)は11:00~に1Fプレス受付にて、16日(木)と17日(金)は個別に対応します。

■日時 : 11月15日(水)17:45~ (受付17:15~)

■場所 : 日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)

<アクセス>

新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

・東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

お手数をお掛けいたしますが、11月14日(火)15時までに、必要事項をご記入のうえ、FAXにてご返信ください。

<お問い合わせ先>

SCWS2017 プレス事務局(株式会社共同ピーアール内)

担当: 市川、田中

(E-mail: miraikan_pr@kyodo-pr.co.jp)

TEL: 03-3571-5326 FAX: 03-3574-0316

